

指導のねらい

相手に応じた適切な表現で案内文を書くことができるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

A ⑨ 二 小学生に向けた案内文となるように適切な文を書く。

正答率62.0%

学習指導要領における領域・内容

〔第2学年及び第3学年〕 B 書くこと

エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。

授業アイデア例

学習の流れ

① 地域の方に向けて、学習発表会の案内文を書く。

② 案内文を見直し、よりよい表現にする。



教師

案内文を書くときには、相手や目的を意識することが大切でしたね。文章の構成や言葉遣いに注意して、もう一度読み返してみましょう。



多くの方に来ていただくために、どこかにぜひ見てほしいということを入れてみたらどうかな。

A, B, Cから選ぶとすれば、Bのところに書き加えるといいね。
どのような表現で書き加えたらよいかしら。



〈相手に応じた適切な表現〉



私たちの学習成果をぜひ見てください。



もっとよい言い方はないかな？



私たちの学習成果をぜひご覧ください。



この方が、いいね。

地域の皆様

平成22年10月1日

第一中学校生徒会

学習発表会のご案内

秋も深くなってまいりましたが、皆様、いかがお過ごしですか。 **A**

さて、第一中学校では、今年も下記のとおり、学習発表会を行います。 **B**

記

1. 日 時 10月24日(日)午前9時から午前11時
2. 場 所 第一中学校体育館
3. 内 容 学習成果の展示、合唱の発表など
4. その他 上履きを持参してください。

C

教材例

● 学習発表会の案内文

留意点

- 実用的な文章の形式もあわせて指導すると効果的である。